

3. 調査結果報告

3-4. カミングアウト状況と利用しているトイレ

おことわり

ここからのページは、職場でのカミングアウトの有無が、職場のトイレ利用にどのような影響を及ぼすかを調べるために、比較・集計を行っています。

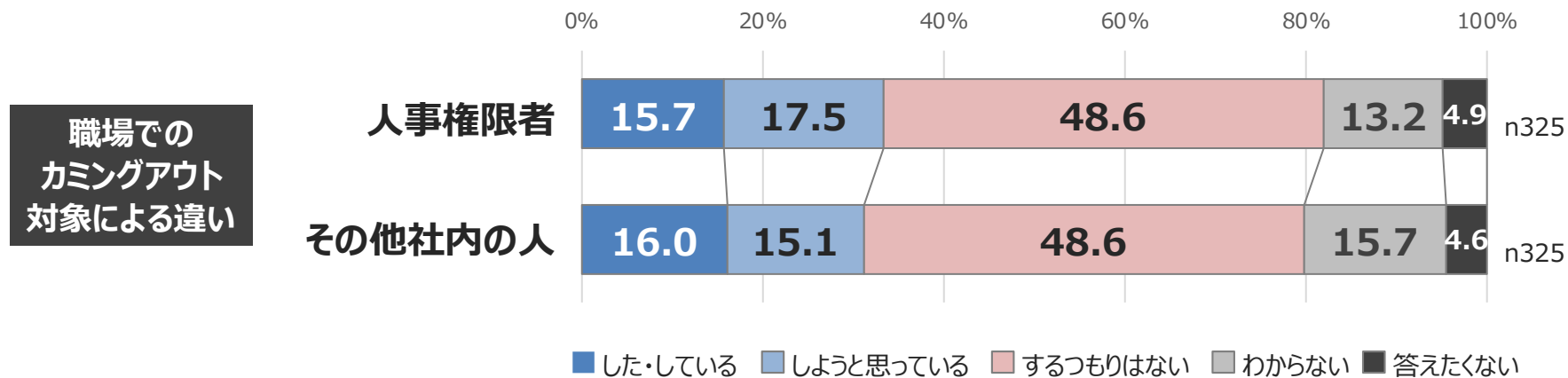
結果の如何に関わらず、職場でのカミングアウトを推奨したり、否定したりしているものではありません。

また、カミングアウトはあくまでも本人の意思に基づいて行うものであり、決して周囲が強制したり阻んだりするものではありません。

職場でのカミングアウト対象と状況（トランスジェンダー全体）

- 職場でカミングアウトするつもりはない、と回答した人が半数近くを占める。カミングアウトしている人は、人事権限者に対してもそれ以外の社内の人に対しても、16%程度に留まる。
- 「しようと思っている」と回答した人は、相手が人事権限者でもその他社内の人でも、その割合に大きな差はない。

Q.あなたは、出生時の戸籍の性別に対する違和感に対し、職場でカミングアウトを行いましたか？お差し支えない範囲でお知らせください。（SA）



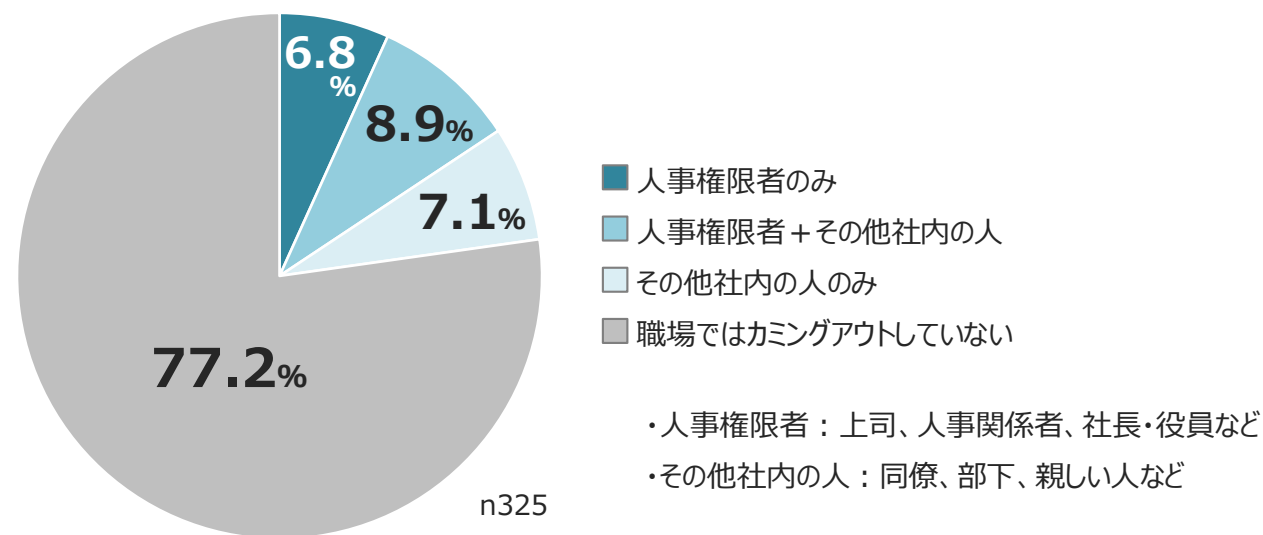
・人事権限者：上司、人事関係者、社長・役員など

・その他社内の人：同僚、部下、親しい人など

職場でのカミングアウト対象と状況（トランスジェンダー全体）

- 8割近い人が、職場の誰にもカミングアウトしていない。
- 人事権限者とその他社内の人両方にカミングアウトしている人は1割にも満たない。

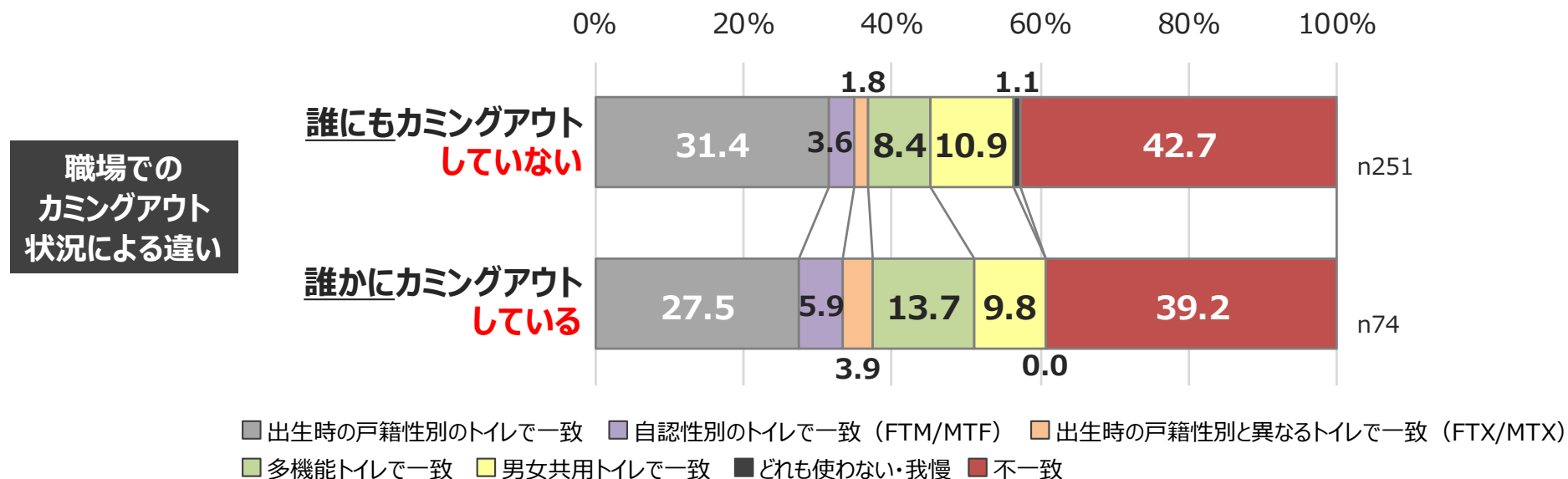
Q.あなたは、出生時の戸籍の性別に対する違和感に対し、職場でカミングアウトを行いましたか？
お差し支えない範囲でお知らせください。（SA）



オフィスで利用しているトイレの種類：希望と実態の一致度（カミングアウトの有無）

- 職場でカミングアウトしている人でも、4割弱がトイレ利用の希望と実態が不一致、誰かにカミングアウトしたとしても、4割強が不一致で大きな差はみられない。
- 「多機能トイレ」で一致する人は、カミングアウトしている人の方が5.3ポイント高い。

Q.あなたは、職場ではどのトイレを利用したいですか？（希望）／現在、職場では主にどのトイレを利用していますか？（実態）



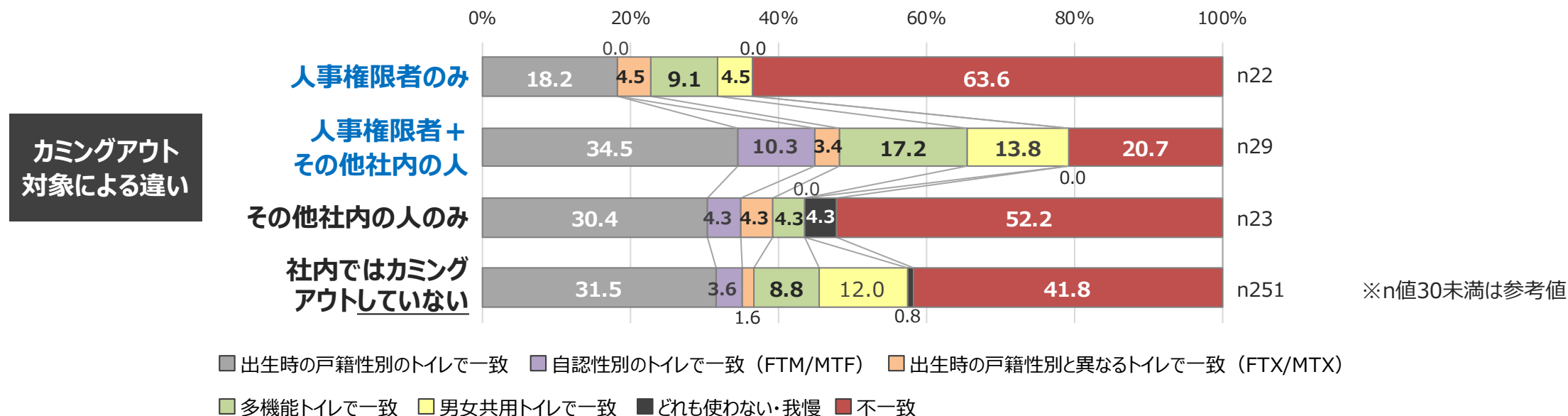
※「一致」に関する詳細は、p.37【補足：トイレ利用の“実態”と“希望”の「一致状況」凡例について】を参照

- ✓ カミングアウトせずに「自認する性別トイレ」や「出生時の戸籍性別と異なるトイレ」を利用している人の中には、現在の職場で働き始める前に性別を移行している場合もあると考えられる。

オフィスで利用しているトイレの種類：希望と実態の一致度（カミングアウト対象）

- 「不一致」の割合は、人事権限者のみにカミングアウトしている場合が最も高く6割以上。人事権限者に加え、その他社内の人にもカミングアウトしている場合が最も低く約2割。
- カミングアウト対象の範囲を広げることが、利用したいトイレを利用できることに繋がってはいるが、職場で利用したいトイレを利用するにはカミングアウトせざるを得ない状況も示唆される。
- 社内でカミングアウトしていない場合の方が、「その他社内の人のみ」にカミングアウトしている場合よりも不一致の割合が低い。自認性別のトイレで一致している人も数%おり、入社前に性別移行している可能性がある。

Q.あなたは、職場ではどのトイレを利用したいですか？（希望）／現在、職場では主にどのトイレを利用していますか？（実態）



※「一致」に関する詳細は、p.37【補足：トイレ利用の“実態”と“希望”の「一致状況」凡例について】を参照